

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年11月13日

【四半期会計期間】 第71期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

【会社名】 株式会社フジマック

【英訳名】 FUJIMAK CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 熊谷 光治

【本店の所在の場所】 東京都港区新橋五丁目14番5号

【電話番号】 03 - 3434 - 7791

【事務連絡者氏名】 管理本部長兼経理部長 坂本 信治

【最寄りの連絡場所】 東京都港区新橋五丁目14番5号

【電話番号】 03 - 3434 - 7791

【事務連絡者氏名】 管理本部長兼経理部長 坂本 信治

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第70期 第2四半期 連結累計期間	第71期 第2四半期 連結累計期間	第70期
会計期間		自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高	(千円)	17,708,486	18,456,567	36,899,822
経常利益	(千円)	1,132,302	930,799	2,180,181
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	754,434	604,267	1,496,055
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	762,860	445,630	1,502,989
純資産額	(千円)	17,516,358	18,439,950	18,256,446
総資産額	(千円)	33,749,082	34,315,951	35,644,100
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	57.56	46.11	114.15
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	51.9	53.7	51.2
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,146,557	1,517,304	2,345,153
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	404,659	445,277	835,570
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	642,935	545,499	935,082
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	9,005,939	9,980,259	9,482,694

回次		第70期 第2四半期 連結会計期間	第71期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	39.86	41.55

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 2018年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。第70期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や個人消費は緩やかな回復基調で推移いたしました。米中貿易摩擦の影響から、企業の輸出活動や生産活動に弱さが見られ景気判断に慎重さが見られました。また、米国の通商政策の動向や英国のEU離脱問題等が経済に及ぼす影響が懸念され、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、あらゆる業種・業態のお客様の様々なニーズやご要望に、迅速且つ的確にお応えすべく、引き続き、生産、物流、設計、施工、営業、サービスの一貫体制の強化に努めてまいりました。

こうしたことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は184億5千6百万円（前年同期比4.2%増）となりました。利益面につきましては、経常利益は9億3千万円（前年同期比17.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億4百万円（前年同期比19.9%減）となりました。

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、売上債権の減少等により、前連結会計年度末比13億2千8百万円減の343億1千5百万円となりました。負債につきましては、仕入債務の減少等により、前連結会計年度末比15億1千1百万円減の158億7千6百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末比1億8千3百万円増の184億3千9百万円となりました。

なお、当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ4億9千7百万円増加し、99億8千万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は15億1千7百万円（前年同期は11億4千6百万円の獲得）となりました。

これは主に、売上債権の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4億4千5百万円（前年同期は4億4百万円の使用）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は5億4千5百万円（前年同期は6億4千2百万円の使用）となりました。

これは主に、長期借入金の返済によるものであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、2億3千5百万円であります。

主なものは、製品の品質及び安全性の向上に向けた開発並びに製品の省人化・省力化を目的とした食器自動洗浄システムの開発等であります。

(6) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売の実績に著しい変動はありません。

(8) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画に著しい変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,000,000
計	50,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,272,000	14,272,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数100株
計	14,272,000	14,272,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	14,272,000	-	1,471,150	-	1,148,365

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社ノヴァックス	東京都港区高輪 1 丁目27-37	4,477	34.16
熊谷俊範	東京都品川区	1,045	7.98
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	245 SUMMER STREET BOSTON, MA 02210 U.S.A. (東京都千代田区丸の内 2 丁目 7 - 1)	820	6.26
フジマック従業員持株会	東京都港区新橋 5 丁目14- 5	745	5.69
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内 1 丁目 1 - 2	430	3.28
熊谷俊茂	東京都目黒区	425	3.24
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町 1 丁目 5 - 5	380	2.90
常盤ステンレス工業株式会社	大阪府大阪市平野区加美北 4 丁目 6 -56	256	1.96
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OMO2 505002 (常任代理人 株式会社みずほ銀行)	100 KING STREET WEST, SUITE 3500, PO BOX 23 TORONTO, ONTARIO M5X 1A9 CANADA (東京都港区港南 2 丁目15- 1 品川イン ターシティA棟)	214	1.64
株式会社テーオーシー	東京都品川区西五反田 7 丁目22-17	172	1.31
計	-	8,966	68.41

(注) 1 . 上記のほか当社所有の自己株式 1,165千株があります。

2 . 2018年11月22日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、エフエムアールエルエルシー (FMR LLC) が2018年11月15日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当第 2 四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、その大量保有報告書の変更報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
エフエムアール エルエル シー (FMR LLC)	245 Summer Street, Boston, Massachusetts 02210, USA	1,049	7.35

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,165,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,103,800	131,038	
単元未満株式	普通株式 2,500		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	14,272,000		
総株主の議決権		131,038	

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社フジマック	東京都港区新橋五丁目 14番5号	1,165,700	-	1,165,700	8.17
計		1,165,700	-	1,165,700	8.17

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,871,129	10,361,340
受取手形及び売掛金	7,890,705	6,297,451
商品及び製品	3,285,131	3,224,644
仕掛品	115,336	120,966
原材料及び貯蔵品	1,125,201	1,125,402
その他	513,499	497,884
貸倒引当金	212	3,614
流動資産合計	22,800,792	21,624,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,417,716	5,461,112
減価償却累計額	2,474,901	2,561,585
建物及び構築物(純額)	2,942,815	2,899,526
機械装置及び運搬具	4,338,776	4,304,214
減価償却累計額	3,211,273	3,282,455
機械装置及び運搬具(純額)	1,127,503	1,021,758
土地	4,071,078	4,071,078
その他	2,335,108	2,337,442
減価償却累計額	1,563,043	1,606,511
その他(純額)	772,065	730,930
有形固定資産合計	8,913,463	8,723,295
無形固定資産	230,732	219,751
投資その他の資産		
投資有価証券	1,958,753	1,855,823
その他	1,852,491	2,005,777
貸倒引当金	112,132	112,771
投資その他の資産合計	3,699,112	3,748,829
固定資産合計	12,843,308	12,691,876
資産合計	35,644,100	34,315,951

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,269,751	8,795,794
1年内返済予定の長期借入金	566,682	506,090
未払法人税等	221,906	215,443
賞与引当金	530,951	386,063
役員賞与引当金	45,654	23,660
製品保証引当金	76,900	73,200
その他	2,079,445	1,461,444
流動負債合計	12,791,291	11,461,697
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	2,145,240	1,922,458
退職給付に係る負債	97,619	111,652
その他	1,353,502	1,380,192
固定負債合計	4,596,362	4,414,303
負債合計	17,387,654	15,876,001
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,471,150	1,471,150
資本剰余金	1,148,365	1,148,365
利益剰余金	13,277,125	13,619,267
自己株式	441,951	441,951
株主資本合計	15,454,689	15,796,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	931,194	856,139
土地再評価差額金	1,727,010	1,727,010
為替換算調整勘定	143,552	59,970
その他の包括利益累計額合計	2,801,756	2,643,119
純資産合計	18,256,446	18,439,950
負債純資産合計	35,644,100	34,315,951

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	17,708,486	18,456,567
売上原価	11,750,690	12,519,875
売上総利益	5,957,796	5,936,691
販売費及び一般管理費	4,933,011	5,043,780
営業利益	1,024,784	892,911
営業外収益		
受取利息	8,321	13,748
受取配当金	18,074	18,664
受取手数料	7,440	7,110
受取賃貸料	24,752	23,878
為替差益	67,063	-
その他	11,462	16,149
営業外収益合計	137,115	79,551
営業外費用		
支払利息	17,797	14,891
為替差損	-	22,078
その他	11,800	4,693
営業外費用合計	29,597	41,663
経常利益	1,132,302	930,799
特別利益		
固定資産売却益	1,348	1,735
投資有価証券売却益	0	66
特別利益合計	1,348	1,802
特別損失		
固定資産売却損	-	203
固定資産除却損	21,609	200
投資有価証券売却損	-	872
投資有価証券評価損	21,610	3,046
特別損失合計	43,219	4,322
税金等調整前四半期純利益	1,090,430	928,278
法人税、住民税及び事業税	236,291	236,030
法人税等調整額	99,704	87,980
法人税等合計	335,995	324,010
四半期純利益	754,434	604,267
親会社株主に帰属する四半期純利益	754,434	604,267

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	754,434	604,267
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,989	75,055
為替換算調整勘定	10,414	83,581
その他の包括利益合計	8,425	158,637
四半期包括利益	762,860	445,630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	762,860	445,630
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,090,430	928,278
減価償却費	317,679	333,618
受取利息及び受取配当金	26,396	32,412
支払利息	17,797	14,891
固定資産除売却損益(は益)	20,261	1,332
売上債権の増減額(は増加)	2,463,264	1,286,993
たな卸資産の増減額(は増加)	445,018	31,415
仕入債務の増減額(は減少)	1,574,763	442,135
その他	242,536	366,816
小計	1,620,718	1,752,500
利息及び配当金の受取額	20,841	24,222
利息の支払額	17,260	14,733
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	477,742	244,684
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,146,557	1,517,304
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	550,413	330,062
定期預金の払戻による収入	351,764	327,579
有形固定資産の取得による支出	195,772	284,145
無形固定資産の取得による支出	720	23,822
投資有価証券の取得による支出	3,480	19,329
投資有価証券の売却による収入	0	20,154
非連結子会社に対する貸付けによる支出	7,000	80,000
非連結子会社に対する貸付けの回収による収入	15,990	5,290
貸付金の回収による収入	428	436
その他	15,455	61,377
投資活動によるキャッシュ・フロー	404,659	445,277
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	380,717	283,374
自己株式の取得による支出	89	-
配当金の支払額	262,128	262,125
財務活動によるキャッシュ・フロー	642,935	545,499
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,032	28,961
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	88,931	497,565
現金及び現金同等物の期首残高	8,912,140	9,482,694
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	4,867	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,005,939	9,980,259

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形及び債務のファクタリングの会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形及び債務のファクタリングを満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	194,675千円	- 千円
支払手形及び買掛金	726,943 "	- "
その他(設備関係支払手形)	2,112 "	- "

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
給与手当	1,936,312千円	1,979,681千円
貸倒引当金繰入額	- "	3,701 "
賞与引当金繰入額	365,662 "	313,362 "
役員賞与引当金繰入額	25,177 "	20,077 "
退職給付費用	121,416 "	127,347 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金	9,588,120千円	10,361,340千円
預入期間が3か月を超える定期預金	582,181 "	381,080 "
現金及び現金同等物	9,005,939千円	9,980,259千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	262,128	40	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

(注) 2018年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり配当額につきましては、当該株式分割前の金額を記載しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	262,125	20	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	57円56銭	46円11銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	754,434	604,267
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	754,434	604,267
普通株式の期中平均株式数(株)	13,106,396	13,106,290

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当社は、2018年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月11日

株式会社フジマック
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小 野 英 樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 渡 辺 雅 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フジマックの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フジマック及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。